



# 子どもを事故から守ろう

H28年度  
健康づくり標語

最優秀賞

あさごはん  
きょうもいちにち  
みなぎるばわあ

川崎小学校1年  
マリーリアナ珊瑚さんの作品

子どもの死因の上位は「不慮の事故」です。今月は、子どもの事故予防について考えてみましょう。

## ☆子どもの発達に応じた対策を

昨日できなかったことが、今日できるようになるのが子ども。

子どもの発達段階を知れば、行動パターンを予測できます。その上で、起りやすい事故の防止策を立てましょう。

## ☆誕生～寝返り前まで

### 【寝室・ベビーベッドなど】

特に寝返りを始めたら、やわらかい布団での窒息に注意しましょう。



また、ベビーベッドはマットレスと柵の間に赤ちゃんが挟まる事故もあります。ベビーベッドガードなどを利用しましょう。

◆寝返りをつつ前の赤ちゃんも、手足を活発に動かすようになると体がず

れて転落することがあります。ソファに赤ちゃんを1人で寝かせるのはやめましょう。ベビーベッドやベビーラックは、必ず柵を上げる、安全ベルトを装着するなどしましょう。

## ☆ハイハイ、一人歩きができたら

### 【お風呂場・洗面所】

◆浴槽 洗濯機、バケツ、洗面器にたまったわずか10cmぐらいの水でも溺れてしまいます。水を貯めっぱなしにしないようにしましょう。

◆歯ブラシ(スプーン、フォーク、お箸、ペンなど)をくわえたまま転倒すると危険です。口に入れたまま歩き回ることがないようにしましょう。

### 【キッチン・リビング】

◆タバコや、灰皿代わりにした空き缶の中の吸い殻入りの水を誤飲することがあります。手の届く所に置くことは危険です。



◆冷蔵庫や棚は開けられないように、

電気ポット、炊飯器、電子レンジ、トースターなどは手の届かない場所に置きましょう。

◆テーブルクロスや電気コードを引っ張り、熱いお茶などをかぶってやけどをしたり、重たいものが頭や顔に当たってケガをする事故があります。テーブルクロスは使用せず、余分なコードは巻き取っておきましょう。

◆コンセントに物を入れて感電することもあります。市販のコンセントカバーや隙間防止カバーを利用しましょう。

### 【階段・玄関・ベランダ】

◆転落の危険があります。柵を付けたら、踏み台になるようなものを置かないようにしましょう。



## ☆家庭の外での事故予防

### 【買い物など外出先で】

◆クーハンやベビーカーからの転落、ショッピングカートからの転落の他、

子どもの急な病気についたら、まず！  
**小児救急電話相談**  
 受診した方が良いのか、様子を見て大丈夫なのか、看護師や医師が電話でアドバイスします。  
**#8000**

◆ダイヤル回線、#8000をご利用いただけない地域からおかけの場合は  
 電話：098-888-5230  
 ◆相談日時：毎日  
 午後7時～午後11時

子育て講演会(詳しくは「くらしの情報」のページへ掲載)  
**「子どものケガや事故！  
 いざというときの対処方法と予防について」**  
 講師：県立中部病院 小濱 守安 先生  
 うるま市消防本部(救急法体験)  
 日時：平成29年2月17日(金) 14:00～16:30